

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73112	4	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	看護研究 (Nursing Research)				
担当教員名	宮本 千津子／吉田 澄恵／篠木 絵理／阿部 恭子／小黒 道子 清水 準一／山本 由子／川村 牧子／伊藤 美千代 遠藤 亜貴子／田久保 由美子／加藤 星花／愛川 由美子 山花 令子／安藤 瑞穂／平田 美和／新井 麻紀子 大西 淳子／田所 由利子／齋藤 尚子／崎山 紀子 小野 治子／藤巻 郁朗／増澤 祐子／重富 一乃／伊能 美和				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要：</p> <p>本科目の目的は、実践を通して4年間の学びを統合することと、課題を探究するプロセスを通して、卒業後にいかなる看護活動の場においても、自らの看護能力の開発にむけて学び続ける姿勢や課題探究能力の基盤を修得することにある。</p> <p>授業の方法は、学生は自らが探究したい課題を見出し、実習を通してその課題に取り組む。実習は学生自らが立案し、実施する。また、実習後は実践を通して得た学びを文献等で裏付けをし、課題に関する見解と課題を明らかにする。</p> <p>到達目標：</p> <p>① これまでの学習に基づき、看護を実践する上での探究したい課題を見出すことができる。</p> <p>② 看護実践における探究したい課題に取り組むための実習目標と具体的計画を立案、実施、評価できる。</p> <p>③ 実習を通して、現場で協働することについて考えを深め、看護の目的と役割、機能について説明できる。</p> <p>④ 他者との協議を通して、これまでの学習と実習体験を統合し、課題についての学びと、よりよい看護・今後の課題を見出し、表現することができる。</p>					
準備学習等					
配置された看護学領域の指示に従う。					
成績評価の方法	到達目標①②③④とも各25%、計100%。 学習プロセス、レポートの内容、発表より、到達目標の達成の程度を評価する。				

テキスト	指定なし
参考図書	各担当教員より必要があれば紹介する。
備考	<p>① 履修年度直前の 2 月頃にガイダンスを予定しているため、それまでに探究したいテーマを想定しておくこと。</p> <p>② 第 1 回目授業で担当領域を発表する。その後は、実習要項を熟読した上で、担当領域の教員とよく相談し、学習計画を立てる。</p> <p>③ 授業計画の詳細は、学習の進行や調整によって部分的に変更になることもある。</p> <p>④ 本科目はこれまで学んできたことを統合する科目なので、4 年次前期までに配置された必修科目を取得しておくことが望ましい。</p> <p>⑤ 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照すること。</p> <p>⑥ 保健師国家試験受験資格取得予定者は、地域看護学領域が担当領域となる。</p>
授 業 計 画	
<p>1 日目 : オリエンテーション : 科目の概要と目標、授業の進め方</p> <p>2 日目 : 探究したい課題に関する学習と実習計画書作成</p> <p>3-8 日目 : 研究実施</p> <p>9 日目 : 課題に関する学びおよびよりよい看護・今後の課題の考察 (レポート作成含む)</p> <p>10 日目 : 発表会 (上記授業計画は、探究する課題により、変更することがあります。)</p>	